

関係各位

公益財団法人長寿科学振興財団
理事長 大島 伸一
(公 印 省 略)

**令和6年度 長寿科学研究等支援事業
「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」の公募について**

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から当財団の事業運営に格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当財団では令和6年度の長寿科学研究等支援事業を別紙案内のとおり公募します。大変恐縮ではございますが、当事業に該当する方がいらっしゃいましたら、この公募についてご案内くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、甚だ勝手なお願いではございますが、この公募についてご所属の団体のホームページやメールニュース、SNS等で広くご紹介くださいましたら幸いに存じます。

敬具

記

1. 事業名

令和6年度 長寿科学研究等支援事業「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」

2. 事業目的

当財団は「長生きを喜べる長寿社会の実現～生きがいのある高齢者を増やす～」を主課題として掲げ、その実現のために課題解決となる研究開発・社会実装を行い、政策提言に向けた助成事業「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」(本事業)をすすめています。

本事業は主課題を実現するため、課題解決となる実用的な方法の研究開発から本格的な社会実装まで取り組める課題解決型のプロジェクトを採択し、支援します。

3. 主課題

「長生きを喜べる長寿社会の実現～生きがいのある高齢者を増やす～」

キーワード

- ① 高齢者の QOL・生きがい・活力のエンパワメント
- ② 弱っても安心して生き生き過ごせるまちづくり
- ③ 認知機能が低下しても個人の尊厳を尊重した普段の生活における様々な意思決定支援
- ④ 高齢者にやさしいテクノロジー・デジタル技術の開発・実装

4. 提案受付期間

令和5年7月3日(月)～ 令和5年7月31日(月)

5. 提案者の要件

提案者であるプロジェクトリーダーは、国内の団体(大学、民間企業、地方自治体、社団・財団法人、シンクタンク、NPO 団体等)に所属し、当該団体においてプロジェクトを実施するプロジェクトチームを組成し、責任者として、全体の責務を負うことができる者

6. 公募概要

公募の概要は当財団のホームページをご参照ください。

<https://www.tyojyu.or.jp/>

7. お問い合わせ

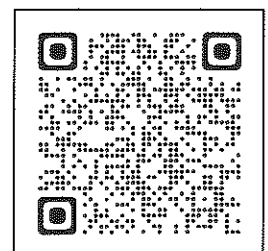
〒470-2101 愛知県知多郡東浦町大字森岡字源吾山 1-1

あいち健康の森 健康科学総合センター4階

公益財団法人長寿科学振興財団 事業推進課 (久野・山口・寶來)

・TEL:0562-84-5411

E-mail:research@tyojyu.or.jp



令和6年度 長寿科学研究者支援事業

長生きを喜べる 長寿社会実現研究支援

提案公募のご案内

長生きを喜べる
長寿社会をめざして

助成金額

年間上限
3,000万円

採択件数

0～2件程度
実効性のある提案を
採択します

提案書受付期間

令和5年7月3日(月)～7月31日(月)

公募要領および提案方法

本事業の公募要領や提案方法について財団ホームページに公開しております。
また本事業に関する情報はメールマガジンにて順次配信します。
ぜひメールマガジンにご登録ください。

長寿科学振興財団

検索



目的

当財団は「長生きを喜べる長寿社会の実現～生きがいのある高齢者を増やす～」を主課題として掲げ、その実現のために課題解決となる研究開発・社会実装を行い、政策提言に向けた助成事業「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」(本事業)をすすめています。本事業は主課題を実現するため、課題解決になる実用的な方法の研究開発から本格的な社会実装まで取り組める課題解決型のプロジェクトを採択し、支援します。

主課題

長生きを喜べる長寿社会の実現

～生きがいのある高齢者を増やす～

キーワード

- 1 | 高齢者の QOL・生きがい・健康・活力のエンパワメント
- 2 | 弱っても安心して生き生き過ごせるまちづくり
- 3 | 認知機能が低下しても個人の尊厳を尊重した
普段の生活における様々な意思決定支援
- 4 | 高齢者にやさしいテクノロジー・
デジタル技術の開発・実装



事業運営 イメージ

本事業は多様な段階から開始するプロジェクトを支援するため、AからDの4つの分類を設けています。プロジェクトは毎年継続の審査があり、確実に社会実装し、持続可能な事業化を重視したプロジェクトを求めています。提案時には、AからDの分類の中でプロジェクトを開始する段階を選択してください。

本事業は審査評価委員会が、審査・採択を行います。また、採択後は審査評価委員会からの助言等を通じ、プロジェクトを実施する皆様と伴走しながらプロジェクトの目標達成を目指します。

A: 探索研究

課題解決方法のアイデアの実現性・実用化が可能かどうか検証を目的とする

年間上限 1,000万円
最長2年間

B: 実装研究

課題解決方法を実験的に実装・検証を進め、事業化の準備を目的とする

年間上限 3,000万円
最長3年間

C: 社会実装

事業を本格的に進め、持続可能な仕組みの確立を目的とする

年間上限 3,000万円
(助成率は総事業費の3分の1まで)
最長3年間

D: 展開

全国展開・新規事業創出につながることを目的とする

年間上限 2,000万円
(助成率は総事業費の10分の1まで)
最長2年間

それぞれの分類で求める最低限の成果

課題解決方法の
試作版の完成

課題解決方法の
正式版の完成
外部資金の調達の実現

持続可能な事業の
仕組みの確立

全国展開・海外展開、
他社との協働による
新規事業の創出など

提案者の要件

提案者となるプロジェクトリーダーは、国内の団体(大学、民間企業、地方自治体、社団・財団法人、シンクタンク、NPO団体等)に所属して当該団体においてプロジェクトを実施する体制を組成してください。

スケジュール

令和5年

令和6年

5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月

公募説明会

1回目：6月8日(木)13時30分～14時30分 2回目：6月20日(火)10時30分～11時30分

■内容：公募説明会では公募内容の説明と質疑応答を1時間程度インターネットによるライブ配信にて行います。

■申込：後日、ホームページおよびメールマガジンにてお知らせします。

提案書受付期間

7月3日(月)～7月31日(月)

一次審査(書面審査)

9月29日(金)

二次審査(プレゼンテーション審査)

10月30日(月)

最終審査

11月27日(月)

採択内定

12月中旬(予定)

契約に係る手続き等

採択内定後

～令和6年2月下旬まで(予定)

契約締結・プロジェクト開始
令和6年4月1日(予定)

審査評価委員会

委員長	駒村 康平	慶應義塾大学経済学部 教授
副委員長	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 未来ビジョン研究センター 教授
委員	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科 教授
委員	阿久津 靖子	一般社団法人日本次世代型先進高齢社会研究機構 代表理事

委員	翁 百合	株式会社日本総合研究所 理事長
委員	鎌田 実	一般財団法人日本自動車研究所 所長
委員	近藤 克則	千葉大学予防医学センター 教授
委員	長谷川 友紀	東邦大学医学部 教授

WEB版

エイジング
アンドヘルス
105号



財団が発行しているWEB版「エイジングアンドヘルス」105号において、「高齢者のQOL・生きがい・健康・活力のエンパワメント」というテーマで、高齢者がそれぞれの地域で生きがいを持って自分らしく生活するための“活力のエンパワメント”につながる知見・取り組みについて特集を組みました。本事業の趣旨の理解を深めるためにも是非ご覧ください。



メルマガ
登録の
お願い

本事業に関する情報はメールマガジンにて順次配信します。
メールマガジンに是非ご登録ください。

スマートフォンのカメラアプリ等で右のQRコードを読み込むか、財団ホームページからご登録ください。



担当者

公益財団法人長寿科学振興財団
事業推進課(担当：久野・山口・寶來)

本公募についてのお問合せはホームページからお願いいたします。

財団概要



公益財団法人長寿科学振興財団は、昭和天皇御長寿御在位60年慶祝事業のひとつとして国立長寿医療研究センターの設立と支援を目的に1989年(平成元年)に発足しました。当財団は長寿科学※に関する調査研究の実施・研究の助長奨励・研究成果の普及を促進し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的に公益事業を実施しています。

※「長寿科学」とは長生きを喜べる長寿社会づくりの基盤となる学問であり、高齢者や長寿社会に関し、自然科学から人文社会科学に至るまで幅広い分野を総合的・学際的に研究する学問のことです。